

開講科目名 / Course	大学ナビ講座	
ターム・学期 / Term・Semester	2024年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	1 学期 / First	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	福田 広美	
担当教員名 / Instructor	稲垣 敦、関根 剛、品川 佳満、小野 美喜、福田 広美、影山 隆之、杉本 圭以子、濱中 良志、堀 裕子	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	大学教育のカリキュラムをはじめ、大学で学ぶうえで基本となる、読む、書く、話す、伝える技術を身に付け、自らの将来ビジョンを描き目標を明確にする。	
到達目標	1. 本を読むこと、考えること、伝えること、文章を書くことなど大学リテラシーの基本を習得できる。 2. 大学で何を学ぶのか、大学での学習が円滑にできるための知見を得ることができる。	
DPとの対応	1. 心豊かな人間性・倫理観、2. 科学的思考力	
授業計画	01. 大学で学ぶということ大学カリキュラム 02. 大学の授業と試験の受け方 / メモ・ノートの取り方 03. 図書館の利用法 04. 伝える技術：アサーション（さわやかな自己主張） 05. 伝える技術：文を書く、レポートを書く 06. 情報リテラシー/心の健康の維持増進 07. 大学生活の送り方 08. 看護と将来の進路と多様な看護の現場	
その他の授業の工夫	大学リテラシーを早く身に付け大学生活に活かせるよう、初期に授業を組み込んでいる。	
時間外学修	担当教員の課題レポートなどの指示に従う。 事前学修：事前課題やレポートにより講義に関する予習を行う（7h）。 事後学修：課題やレポートにより講義に関する復習を行う（15h）。	
評価方法と評価割合	すべて出席することが評価の前提である。欠席理由の如何にかかわらず、授業欠席2回にて成績評価レベルを一段階下げる。また欠席理由の如何にかかわらず、授業欠席4回にて最終レポート提出の資格を失う。提出物20%、最終レポート80%。	
テキスト	必要に応じて、プリントを配布する。	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	関根剛：臨床心理士（教育センター相談室、少年鑑別所勤務経験）
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	臨床心理士の経験を活かしたアサーティブなコミュニケーション技術、臨床の管理経験を活かした学部学生へのキャリア教育	